

【日本の大学】第28回——岡山大学：医学、教育で長い歴史



岡山大学のシンボル、時計の塔

岡山大学（岡大）は、中国・四国地方の中核的な都市であり、江戸時代から岡山藩の城下町としての歴史を誇る岡山市に本部がある国立の総合大学である。医学部の元祖となった岡山藩医学館は1870年に創設されており、医学部は2020年に創立150周年を迎えた。教育学部は1874年にできた温知学校からつながっている。岡大は、こうした歴史のある高等教育機関群を包括して1949年に設立された。



秋のキャンパス

▽高度な知の創成と継承

大学は、建学の理念として「高度な知の創成と的確な知の継承」を掲げる。これまでの長い歴史を踏まえて、人類社会を安定的かつ持続的に進展させるために、常に新たな知識基盤を構築していく必要があり、公に開かれた知の府として、教育・研究・社会貢献などの活動を通して、高度な知を生み出し、的確な知を次世代に引き継ぎ、人類社会の発展に貢献していくことを目指している。

以下、岡山大学のホームページなどから大学の歩みと現状をみていこう。



キャンパスの地図

1949年に発足した時の岡山大学は、法文学部、教育学部、理学部、医学部、農学部の5学部と、医学部附属病院、放射能泉研究所、附属図書館の体制でスタートした。医学部と教育学部の淵源にはすでに触れたが、ほかに、旧制第六高等学校(1900年創立)文科を継承したのが法文学部であり、同理科を引き継いだのが理学部である。また、農学部はスタートした後、1946年に設置された岡山農業専門学校を吸収している。

法文学部はその後、1980年に文学部、法学部、経済学部の3学部に分離された。このうち文学部は、哲学・史学・文学の3学科制からスタートしたが、1995年の学部改組によって「人間」「行動科学」「歴史文化」「言語文化」の4学科構成に、さらに2004年4月からは、「人文学科」の1学科制に変更され、その中に「哲学芸術学専修コース」「行動科学専修コース」「歴史文化学専修コース」「言語科学専修コー」「言語文化学専修コース」の5専修コースで構成する形となった。その後、2016年4月からは、60分授業・4学期制を実施したのに合わせてカリキュラムの改革を行い、「哲学・倫理学」「芸術学・美術史」「地理学・社会学・文化人類学・社会文化学」「心理学」「歴史学・考古学」「言語学・現代日本

語学」「日本語・日本文学」「外国語・外国文学」の8分野で構成することにした。



中央図書館前にて

法学部は2004年に大学院法務研究科(法科大学院)が設置されたことに伴い、法学部法学科に昼間コースと夜間主コースが設置されている。

経済学部も法学部と同様、昼間コースと夜間主コースを設置しているほか、専門科目を数科目ずつ小科目群(ユニット)に分類し、内容や特色の近いユニット同士をモジュールと呼ばれる科目の系統に編成するユニット・モジュール制を導入している。夜間主コースの授業料は昼間コースの半額にして、働きながら学ぶ学生の経済的な負担を軽減する措置が取られている。

理学部は、自然界の法則に関する最先端の研究を進めつつ、その成果を基盤として、問題の発見・解決能力に優れた人材の育成を目指して少人数での教育を行っている。附属臨界実験所と附属界面科学研究施設を設置しており、それぞれ海とそこに生息する生物に関する教育・研究、新規超伝導体や物性の起源の解明などに関する教育・研究を行っている。

工学部は、1960年に新たに設置された。機械工学、電気電子工学、システム

工学、通信ネットワーク工学、情報工学、物質応用化学、生物機能工学の7学科構成であったが、2011年からは、工学の基礎を十分に修得し、幅広い工学・技術の基本的な知識を身につけた後で、学生の希望に基づいて専門コースに分かれるようにするため、より広い領域をカバーする4学科構成に改組した。4学科とは、「機械システム系学科」、「電気通信系学科」、「情報系学科」、「化学生命系学科」であり、それぞれ2〜3のコースを持っている。



開発したロボット

医学系では、医学部の薬学科、製薬化学科が分離されて1976年に薬学部が独立、1979年には歯学部が設置されている。

学部で最も新しいのが1994年に設置された環境理工学部である。学科は「環境数理学科」、「環境デザイン工学科」、「環境管理工学科」、「環境物質工学科」の四つで構成されている。災害や気象変動、環境保護など近年注目を集める学問分野に分かれ、それぞれの分野ごとに研究を進めている。



農学部収穫祭

農学部は、持続可能な開発目標（SDGs）を見据えて、幅広い領域で活躍できる人材育成を目指した教育・研究体制を敷いている。「総合農業科学科」の1学科制を採用、1年次には1学科体制のメリットを生かして農学全般の基礎知識を修得し、2年次からは、「農芸化学」「応用植物科学」「応用動物科学」「環境生態学」の4コースのいずれかに進み、専門知識の習得と応用力を養う。講義室や実験室に留まらずに、附属山陽圏フィールド科学センター、津高牧場、キャンパスの借景ともなっている半田山にも実習を展開しており、「人類の持続的発展を担う農学」を切り拓くことを目指す。

学部は現在、11（2021年4月から10学部）あり、大学院の研究科は八つ（教育学、社会文化科学、自然科学、保健学、環境生命科学、医歯薬総合、法務、ヘルスシステム統合科学）である。

▽グローバル人材の育成

2017年10月からは「グローバル・ディスカバリー・プログラム」をスタートさせた。これは、学部学科の枠にとらわれない、自由で実践的な学びを通してグ

ローバルに活躍できる人材を養成することを目指して設置された。文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択された「PRIME Program」の柱の一つとして、岡大が新設したもので、世界中から集まる留学生、帰国生などが国内高校の出身者と同じクラスで学び、協力しながら学んでいく国際プログラムで、10月に実施する総合型選抜(ディスカバリー入試)を経て、翌年4月から入学する方式。募集人員は60名となっている。

マッチングプログラムコースという、新たな教育プログラムにも取り組んでいる。2006年からスタートしたもので、学生一人一人の個性や能力を一層伸ばすことを目指して設置された。学生自身が、既成の学部・学科のカリキュラムの枠を超えて履修プログラムを作成、各自の学修目的を達成するとともに質の高いキャリアプランを組むことを狙っている。



グローバルの学生構成

▽新生の工学部が発足

全学的に、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」や「持続可能な開発のための教育 (ESD)」を重視し、地域とも一体となって、教育目標として推進しているのも特徴である。政府の第1回「ジャパンSDGsアワード」(2017年)では国立大

学では唯一、特別賞を受賞している。

大学の目的にも、「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を謳っている。これは「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育などの困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開によって問題の解決に当たるといふ、人類社会の持続的変化のパラダイム構築が必要であるとしている。

また、2021年4月には、工学部と環境理工学部を統合再編して、新生の工学部が発足するが、持続可能性は、その狙いの一つにもなっている。新生学部は、工学科1学科とし、その下に4つの系(機械システム系、環境・社会基盤系、情報・電気・数理データサイエンス系、化学・生命系)と10のコースを用意し、従来の学科の枠にとらわれない分野横断的な学びを可能にする。SDGsに貢献する実践的な教育を特色として、既存の2学部の特徴を生かして新たな教育課程を構築する、としている。



工学部の卒業生たち

歴史と伝統を誇る岡山という地域と共生しながら「学都」を創成していく取り組みである「学都構想」の継承も岡大の特色であろう。2017年4月に就任した

第14代の学長である榎野博史氏は、それを踏まえて「しなやかに超えていく『実りの学都』へ」を提唱した。地域と大学が連携して魅力的な街づくりと、グローバル人材の育成による地域活性化の拠点形成が必要であり、その具体的な形として「おかやま円卓会議」や「おかやま地域発展協同体」が設立されている。

キャンパスは、岡山市の北部に位置する津島地区に大半の学部や大学院の建物、設備が集中している。このほか、市内には医学部、歯学部、大学病院などがある鹿田キャンパス、付属の幼稚園、小中学校がある東山地区、附属特別支援学校のある平井地区がある。ほかに倉敷地区には資源植物科学研究所など、鳥取県三朝町には惑星物質研究所が配置されている。

国際バカロレア入試に力を入れているのも特徴である。国際バカロレアとは、親が世界中を転勤するといった家庭の子息が、大学に進学しやすくするよう国際的に認められている大学入学資格であり、岡大は、国立大学として初めてバカロレアを活用した入試を2012年度から一部の学部で導入し、2015年度からは全学的に実施している。



2021年3月25日に卒業式が行われた

学生数は、学部は10105名、大学院は2922名、役職員は2597名である。(以

上 2020 年 5 月現在)

学長は槇野博史氏で、岡山大学医学部医学科を卒業、医学部助手、助教授、教授、大学理事・大学病院長などを経て 2017 年 4 月から現職。2021 年 4 月の新任
期からも学長に再任された。

文 滝川 進

写真 岡山大学 Facebook より